

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	育児教室等の充実						掲載ページ
							66
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健
							子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	乳幼児の子育てや基本的な生活習慣等に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	母子の健康確保のため、乳幼児の保護者を対象とした育児教室を各区で開催します。子どもを持つ親同士の交流や育児に必要な知識を提供します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	育児教室開催数 より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防など、育児に必要な知識の普及につながることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）	605 回	継続的な開催	619 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	育児教室参加者数 より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防等、育児に必要な知識の提供につながることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）	8,813 人	増加	8,409 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	定期的に各区で開催することになっている育児教室は予定どおり開催できており、出生数が減少していることや、就労する母親の増加等の要因により、前年度よりも参加者数が減少しましたが、子どもを持つ保護者同士が交流し、情報交換等は図られたと考えるため、順調と判断しました。基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であることから、乳幼児を持つ保護者に対して、必要な情報を提供できていると考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	他の社会資源状況を把握したり、関係機関と連携し参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的に開催することが必要です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であり、乳幼児を持つ保護者に対して、知識の普及を図ることは重要です。また、子どもを持つ保護者同士が交流し情報を交換することで、育児に関する不安の軽減が図られています。今後も乳幼児の保護者の実態を反映した育児教室を実施していきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	食を通じた乳幼児等の健康づくり						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,129	千円	1,164	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	妊産婦や乳幼児の食事や栄養について、知識の普及と不安や悩みの軽減を図るため、実習形式で学べる教室の開催及び相談を行います。また、教室に参加できない対象者については、リーフレットの配布等で啓発を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画		妊婦教室等については、対象者のニーズやコスト面を考慮した実施会場の設定や運営の委託化を行います。また、リーフレットの配布を行い、より多くの対象者に啓発していきます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】		
	妊婦教室等開催回数	15 回	30 回	16 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	食について学ぶ機会があった人のほうが、野菜の摂取量が多いことやバランスの取れた食生活が実践できているという調査結果から、より参加しやすい形に見直した教室の開催回数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 30回（平成26年度）			53.3 %				
					順調	順調		
				やや遅れ				
					遅れ			
						（最終目標と最終年度）		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	対象者のニーズや事業の効率化を考慮し、教室を開催しました。また、リーフレットの配布を行い、より多くの対象者に啓発することができたため、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	教室の運営委託を行い、準備やスタッフの手配など、効率的に実施しました。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
よりニーズを考慮した教室内容、および啓発方法を検討していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	親子ですすめる食育教室						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		944	千円	966	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	乳幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、入所児童の保護者を対象に乳幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです
活動計画	40回程度講座を実施し、より多くの対象者に食育を推進していきます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	「親子ですすめる食育教室」の開催回数	40 回	40 回	40 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	幼稚園、保育所等において教室を開催することにより、より多くの対象者に食育の推進ができるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 40回（現状維持）（平成26年度）						
	（最終目標と最終年度）					順調	

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 年長児のほとんどが幼稚園、または保育所に通っており、保護者にも参加しやすい場所での開催は、多くの参加者を得られ、食育の推進するに有効であり、目標どおり開催できたことから順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 従事者にボランティアを加えており、コストの面では抑えられています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後とも、望ましい食習慣の定着のために、幼稚園、保育所等において教室を実施することで、食育を推進します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	「食育推進ネットワーク」の構築						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		85	千円	2,240 （「きたきゆうしゅう食育 ネット」事業の総額。本 事業はその一部）	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	食育関係団体（者）とのネットワークを構築し、食育に関する情報の共有化を図るとともに、相互の連携・協力による食育を推進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	「北九州市食育推進ネットワーク」登録会員を対象に、情報交換会を定期的（年6回程度）に開催し、食育関係者・関係団体等の相互の情報交換・交流を行い、それぞれの団体等の自主的な活動や関係団体相互の連携・協力による食育活動を推進します。また、「食育キャンペーン」を実施し、行政だけでなく官民連携・協力のもと、本市における食育の一層の推進を図ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	食育に関心を持っている人の割合 食育に携わる団体・個人のネットワークづくりが進み、より効果的な活動が行われることで、食育の認知度が上がり、食育に関心を持った市民が増加することが期待できることから、活動指標として掲げました。（なお、目標値は第二次北九州市食育推進計画の指標の中から設定。） （最終目標と最終年度）90%以上（平成30年度）		75.3% （24年度）	90%以上	29年度調査予定		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「北九州市食育推進計画」に基づく食育の推進 本市における食育を総合的かつ計画的に推進していくことを目的に策定した「北九州市食育推進計画」に基づき、食育を効果的に推進していくため「食育推進ネットワーク情報交換会」を開催するとともに、食育に関する普及・啓発を行います。 （最終目標と最終年度）		情報交換会を4回開催	情報交換会を6回開催	情報交換会を3回開催	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 情報交換会は、目標に達しなかったものの、おおむね昨年度どおり実施することができました。また、食育キャンペーン（集中取組期間：7月・8月）では、食育の様々な課題の中から、テーマを「食卓に野菜プラスで健康生活」と設定し、取組みの方向性を統一することで、各種団体と連携・協力した活動を実施することができたことから、順調としました。 今後も情報交換会等を通じて、会員相互の関係づくりを図り、より効果的な活動につなげていきたいと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 情報交換会の開催回数を減らし、その分食育関連の情報提供を7回行うなど、情報提供の充実を図ることで事務の簡略化や内容の見直しを行い、より効率的な事務運営となるよう努めています。今後も、食育に取り組む団体等とのより一層の協力・連携に努め、市民の自主的・自発的な食育活動を促していきます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
「第二次北九州市食育推進計画」（平成26年度～平成30年度）の目標達成に向け、「食育キャンペーン」の実施を始め、関係団体等と協力・連携した活動の充実に努めます。 また、「北九州市食育推進ネットワーク」登録会員の増加を目指すとともに、情報交換会を始めとした交流・情報交換の場の提供により団体間の情報共有や関係づくりを支援し、相互連携・協力による活動の活性化を目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所を通じた地域への食育推進事業						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 保育所において、食事に関する不安を解消するために、入所児童の保護者に加え、地域の子育て家庭を対象として食育に関する相談や講演会等を充実します。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	各保育所に実施保育所の取り組みの事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、今まで実施していなかった施設に対して新たな取り組みを促します。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		地域の子育て家庭に対し食に関する支援を実施している保育所の割合 支援を実施している保育所の割合の増加が、支援の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 70%（平成26年度）	66 %	70 %	66 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	（最終目標と最終年度）			94.3 %		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 実施保育所の取り組みを未実施保育所に紹介することにより、一進一退ではあるが実施保育所が増加しており、順調と考えています。講演会や食に関する情報提供は、入所児童の保護者とともに、地域の子育て家庭を対象とするので、より効果が高く、地域の保護者は身近な保育所で情報が得られることから、地域の食育推進として有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 保育所の行事として予算範囲内で行い、効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

各保育所が、地域の子育て家庭へ給食のレシピ・食育だよりの配布や食に関する情報提供、食生活相談会、講演会等の支援を積極的に取り組めるように支援します。
--

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所入所児童への食育推進事業						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所入所児童の食に関する興味や関心を高めるため、子どもたちが食材の栽培活動や調理などの体験を行います。また、給食を生きた教材として活用した食育指導の充実を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	実施保育所の取り組みの事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で実施しており、さらに内容が充実するように支援します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】		
	入所児童に対する食育を実施している保育所の割合	100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	食育指導を実施している保育所の割合の増加が、指導の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 100%（現状維持）（平成26年度）			100.0 %		順調 やや遅れ 遅れ	順調	
	（最終目標と最終年度）	#DIV/0! %						

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 実施保育所の取り組みを周知することにより、全保育所で実施したことから、順調としました。入所児童への食育指導の取り組みにより、子どもが食物に関心を持ち、楽しく食事をすることで健康な心と体を育むことから有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 保育所の保育の一環として取り組むので、予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
各保育所において、子どもが生活と遊びの中で、食にかかわる体験を積み重ねることができるように、食材の栽培体験、調理体験等に積極的に取り組むように支援します。 また、毎日の給食を通して、食事のマナー、行事食、栄養バランスなどについて教えていくように支援します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保育所給食を通じた家庭への食育の普及啓発						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所入所児童の保護者に、食育について関心を持ってもらうため、給食の保護者試食会や、献立表・食育だよりの配布などを通して、家庭への食育の啓発を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	実施保育所の事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で継続実施し、さらに内容が充実するように支援します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	入所児童の保護者に対し、食育の啓発を実施している保育所の割合		100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保護者への啓発を実施している保育所の割合の増加が、家庭への食育の啓発推進と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 100% 平成26年度				100.0 %		
						順調	順調
（最終目標と最終年度）				#DIV/0! %	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所の事例等を周知することにより、100%の施設で継続実施をしていることから順調としました。 また、入所児童の保護者への食育の啓発により、子育て支援のみならず、家庭の養育力の向上、保育所との連携が一層強化されています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各保育所が予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること	
給食試食会の開催や献立表・食育だより等の配布は、家庭での食育の実践が広がり、食を通して子どもへの理解にもつながります。今後とも各保育所（園）の食育だより等の内容がさらに充実するように、調理員研修において、食育だより等のヒントになる講話や、情報交換を行います。 なお、本事業は、「保育所を通じた家庭・地域への食育推進事業」と統合し、一体的に進めます。	

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	歯科保健事業						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		65,599	千円	68,490	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 歯と口の健康は市民の健康寿命を延ばすことに役立つだけでなく、美味しい食事や家族や仲間との会話を楽しむ等による市民の生きる力をはぐくみ、生活の質の向上を図るための重要な要素です。生涯を通じた歯と口の健康づくりの一環として、乳幼児期のむし歯予防により歯と口の健康づくりの推進を図ります。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査、4・5歳児歯科検診を実施します。また、1歳6か月児へのフッ化物の塗布を実施します。また、市民センター等でライフステージに応じた歯科保健指導を開催します。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		1歳6か月児・3歳児歯科健康診査を受診した者の割合 受診することで、乳幼児期における歯や口腔の異常や歯科疾患のリスクを早期発見し、適切な指導を行うことができることから、1歳6か月児・3歳児を対象に歯科健康診査の受診率を活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）	57.7 %	増加	57.2 %	大変順調
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	歯と口の発育時期である幼児期の適切な時期に歯科健康診査を行うことは、むし歯の予防の早期発見・早期対応をはじめとした歯と口の健康づくりに効果的です。また、健康診査の結果に基づき、歯みがき方法やおやつとの与え方等に関する日常生活に必要な歯科保健に関する保健指導を行うことで歯や口の発育するスタート時期からの歯科保健対策を進めることになり、有効性は高いと考えます。併せて、歯が生えてきた早期から乳歯にフッ化物塗布を行うことが効果的です。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業はすでに民間（歯科保健に関する専門職団体）に委託して実施しており、効率的な運営を行っていると考えます。歯科保健指導や歯科保健についての普及啓発活動については、経済的、効率的に実施するように努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

本事業は施策に対する有効性も高く、歯と口の健康づくりを行っていくうえで重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向けて着実に取り組みを進めていくことが適切であり、引き続き事業を行います。
平成27年度は、1歳6か月児・3歳児歯科健康診査の受診率向上を目的に未受診者に対する受診勧奨、未受診者の動向を把握するためのアンケート等を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	市民センターを拠点とした健康づくり事業						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		1,152	千円	6,426 (住民主体による快適な健康づくり事業の総額。本事業はその一部)	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 市民センター等を拠点として、市民が主体となって地域の健康課題について話し合い、目標の設定・計画づくり・実践・事業評価を一つのサイクルとした健康づくり事業をまちづくり協議会が健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会と連携し、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、行政(保健師等)の協力により実施します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動計画	「市民センターを拠点とした健康づくり事業(地域でGO!GO!健康づくり)」の全市的な展開を目指し、地域担当保健師等による支援や補助金の交付を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「地域でGO!GO!健康づくり」の実施まちづくり協議会数	111 団体	136 団体	115 団体	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市民が自ら話し合い、地域の健康づくりに取り組んでいく「地域でGO!GO!健康づくり」を拡充することで、市民主体の健康づくりを推進します。 (最終目標と最終年度) 136団体(H29年度)			84.6 %		
(最終目標と最終年度)				順調		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 保健師等の働きかけにより「地域でGO!GO!健康づくり」を新たに4団体が新規に取り組みを開始しました。各区で開催した活動報告会等が事業のPRIにもなり、事業の充実に効果があったことから、順調としました。 校区の三世交代りや絆形成に役に立っています。しかし、新規に取り組む団体の増え方は緩やかになっています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「地域でGO!GO!健康づくり」は、市民自らが地域の状況にあった健康づくりの取り組みを考えるものであり、運営費の一部に補助金を交付し、効果的な活動を推進しています。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

事業を実施していない校区への支援方法を検討します。
各区で報告会や交流会を開催し、お互いの活動内容などを情報交換できる機会を提供します。
本事業で築いた地域のつながりを活かし、地域で健康学習を展開していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	小児肥満対策事業						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		472	千円	1018	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	肥満傾向のある児童を適正体重に近づけることにより、将来の生活習慣病罹患のリスクを減少させるために保育所、幼稚園の職員および保護者に対し、小児肥満の知識、予防の啓発を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	市内の保育所、幼稚園を対象とした身長体重バランス値調査及びアンケート調査の結果について解析を行います。また保護者に対してリーフレットの配布などを行い、小児肥満予防の啓発を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	小児肥満予防リーフレットの配布枚数	8,979 枚	9,000 枚	9,300 枚	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	リーフレットを配布した数は、保護者や職員が小児肥満予防の意識を持つことにつながるため、活動指標としてあげました。 （最終目標と最終年度）継続実施 26年度			103.3 %			
						順調	
（最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 前年度、保育所、幼稚園で実施した、身体測定バランス調査と生活習慣に関するアンケート調査結果について解析を行いました。また市内の保育所、幼稚園等に小児肥満予防ポスターの配布、保護者に対してリーフレットの配布を行い、小児肥満予防の啓発ができたことから、順調としました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 講演会や教室の開催方法や小児肥満予防リーフレットの配布方法を検討していきます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
就学前の保護者や子どもを対象とした小児肥満予防教室を開催し、小児肥満に関する知識の普及、予防の啓発をしていきます。